



## 町長エッセイ



槻川にかかる馬橋に地区有志による鯉のぼりが泳ぎ出す頃、町は新緑に包まれ、町内各所で毎年「まつり」が行われます。

ゴールデンウィーク中は埼玉伝統工芸会館で「工芸の里まつり」が開かれていました。紙すき体験コーナーの賑わいにはユネスコ登録の効果を感じ、昔の遊びのコーナーでは私の世代には懐かしいベーゴマ、けん玉、竹とんぼにかざぐるま…それぞれに真剣に取り組む親子の姿に会いました。また、和太鼓の力強い演奏と14団体約300人参加のよさこい踊りは圧巻で、総踊りではつい調子にのり一緒に手や足を動かしてしまいました。そして広場を走るミニSLに子供達と一緒に試乗し、懐かしさがこみあげてきました。

5月16日・17日は第14回図書館まつりでした。本を借りるだけが図書館ではありません。おはなし会には0才児からの子供たちとお母さん、さらに90才を過ぎた方が朗読ボランティアで参加していると聞きました。図書館に関わる老若男女を問わないサークルの催しが目白押しで、図書館を会場に活動が続けているコーラスの皆さんと童謡唱歌を満喫した後、小雨の中、足どり軽く小川はつらつ朝市の会場へと向かいました。